

(様式3)

公共事業再評価調書

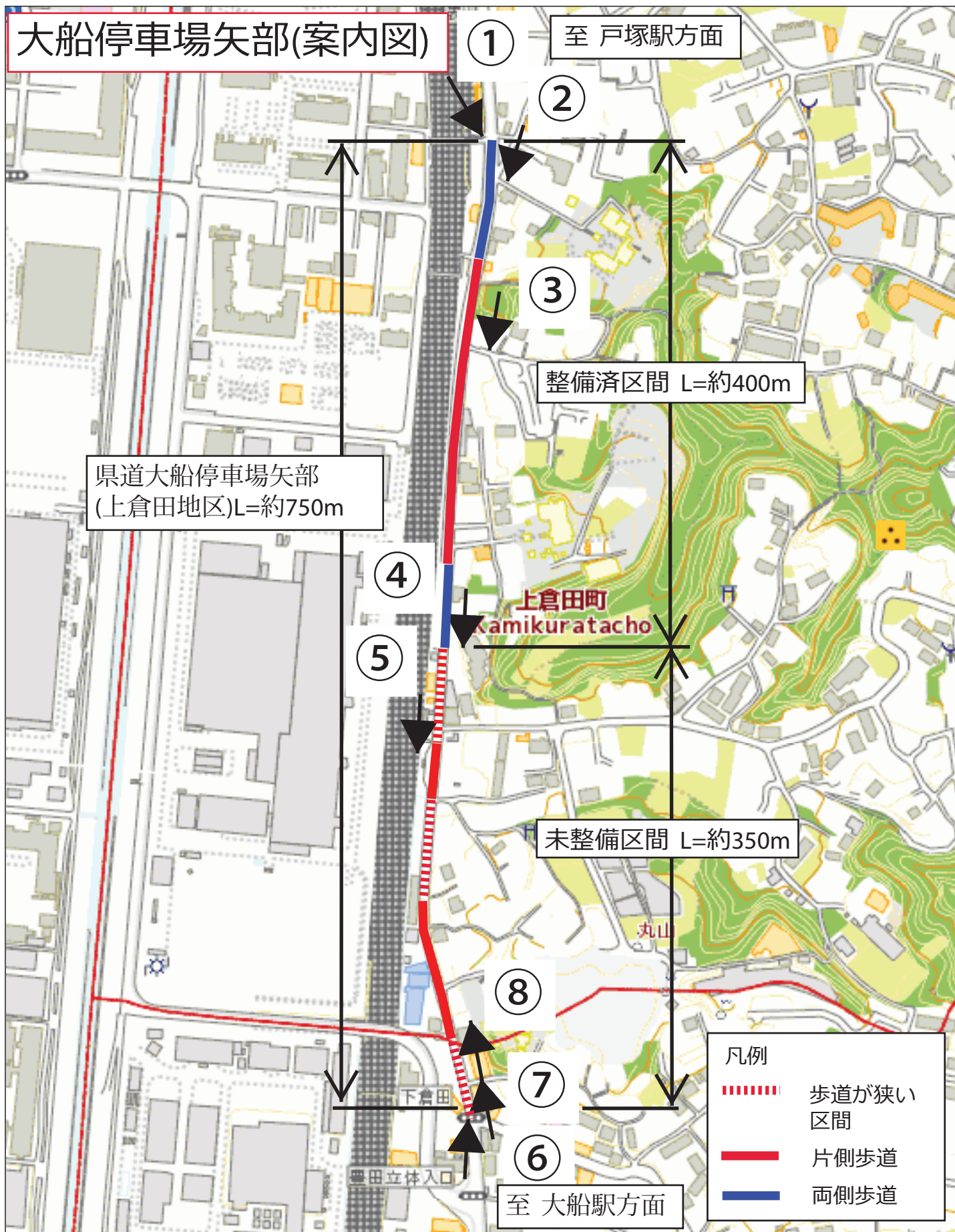
番 号	道路-3	事業担当局課	戸塚区戸塚土木事務所		
事業名	県道大船停車場矢部道路改良事業		採択年度	昭和59年度	
施工場所	戸塚区上倉田町～下倉田町		経過年数	32年	
目的及び 事業概要	<p>目的 本路線は国道1号から戸塚駅、環状3号線及び環状4号線を経て大船駅に至る道路です。本路線は戸塚駅、大船駅間のバス路線となっており運行本数も多い道路です。戸塚区上倉田町から下倉田町までの区間の現況幅員は6.5m前後と狭く、大型車のすれ違いが困難なため、路線バスは、徐行運転を余儀なくされ、定時運行が困難な状況です。また、歩道が狭く、安全性が確保できていません。</p> <p>本事業により、戸塚駅へのアクセスが改善し、安全性の確保及び、利便性の向上を図ります。なお、本事業は平成13年度、平成18年度、平成23年度に再評価を実施しています。</p> <p>事業概要 計画延長 約750m、計画幅員9.5m（車道7m、片側歩道2.5m）</p>				
			当初（事業採択時）	変更（平成28年度）	
	事業期間		昭和59年度～平成15年度	昭和59年度～平成33年度	
	事業費	合計	1,784百万円	1,640百万円	
		国費	—	—	
		市費	1,784百万円	1,640百万円	
	変更内容	用地交渉等が難航しており、事業に多くに時間を要しているため、事業期間を変更します。			
	上位計画等	横浜市中期4か年計画(2014～2017)の施策 28「市民に身近なきめ細かい交通機能の充実」で、「歩行者の安全確保や地域の利便性の向上」として、「バス路線などにおける道路の改良など、市民の利便性の向上に資する道路改良を推進します。」としています。			
関連事業	特になし				
事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	<p>平成25年度には、戸塚大踏切デッキ、平成27年度には、戸塚駅の東西道路を結ぶとつか地下道が供用開始され、駅周辺については、混雑の緩和、安全の確保、利便性の向上が図られました。しかしながら、当事業区間は路線バスが平日約730台運行しており、未整備区間の道路は狭く、早期の整備を望む声が市民及びバス事業者から寄せられています。</p> <p>当該事業の未整備区間では、車道や歩道が狭く、さらに標識や電柱があるため、歩行者の安全性や大型車の通行に課題があります。また、通学路でもあることから地元やスクールゾーン協議会から安全性の向上について、強く要望されており、早急に整備を行う必要があります。</p>			
	事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)			事業全体	残事業
		割引率		4% (2%)	
		総便益 (B)		66億円 (101億円)	19億円 (29億円)
		総費用 (C)		30億円 (18億円)	3億円 (3億円)
		費用便益比 (B/C)		2.2 (5.6)	5.8 (9.1)
	感度分析 〔交通量-10%〕		1.2 (3.0)	9.8 (15.2)	

		道路の拡幅整備により歩行者の安全性が確保されます。また、大型車の通行が容易になり、バスの定時運行が図られ、バス利用者等の利便性も向上します。 [その他特記事項]特になし
事業の進捗状況	事業進捗率%	戸塚駅側については、平成 29 年度までに用地取得を終え、平成 30 年度に工事着手する予定です。また、大船駅側については平成 31 年度までに用地取得を終え、平成 32 年度までに工事着手し、平成 33 年度までに事業完了する予定です。
	77%	
	用地取得率%	
	66%	
	供用等の状況	
	400m供用中	
事業の課題及び進捗見込み	平成 24 年度より、戸塚駅側及び大船駅側の両側から地権者と用地交渉を進めておりましたが、移転先の用地確保や補償内容の説明に時間を要していました。戸塚駅側について、地権者の理解も得られたため、今年度中に 1 件の用地買収を予定しています。 また、両側の他の地権者からの協力も得られているため、引き続き用地交渉を進め、用地取得した箇所から工事に着手し、平成 33 年度の事業完成を目指します。	
その他 (コスト削減項目等)	工事施工においては、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト削減を行うとともに、舗装・構造物の基礎等については、再生材を使用する等可能な限りコスト削減に努めます。	
その他	特になし	
添付資料	有 ・ 無	
対応方針	継続	計画通り(上記計画を実施)※1
		一部見直し(上記計画を変更)※2
		【見直し内容】
	中止	

対応方針とした理由	<p>当該事業の未整備区間では、車道や歩道が狭く、さらに標識や電柱があるため、歩行者の安全性や大型車の通行に課題があります。また、通学路でもあることから地元やスクールゾーン協議会から安全性の向上について、強く要望されており、早急に整備行う必要があります。</p> <p>これまで約 400mの区間が完成しており、車両通行の円滑化、歩行者の安全性の効果が認められており、引き続き整備を継続することが必要と考えています。</p>
-----------	--

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。





写真③
整備済

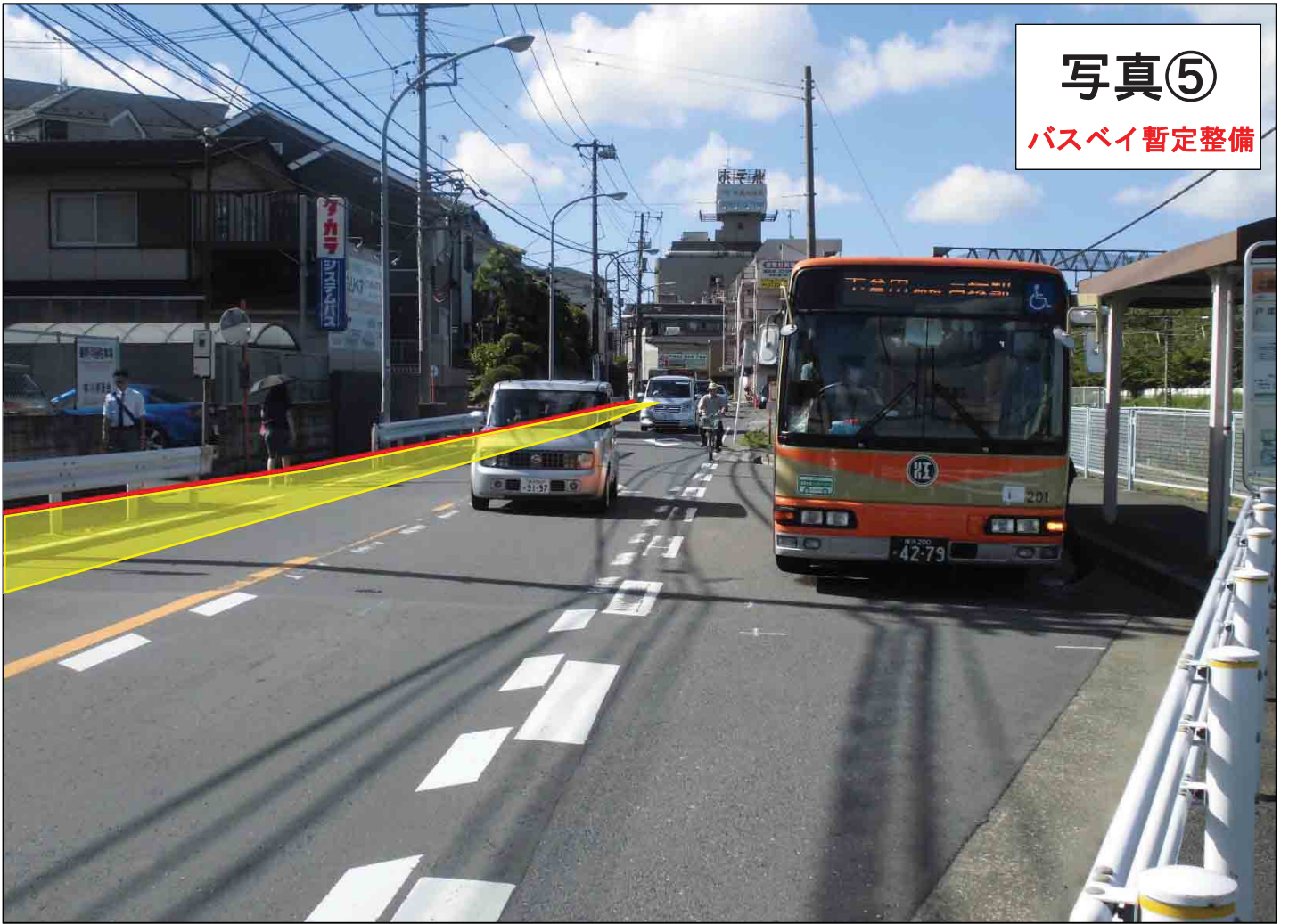


写真④
一部整備済



写真⑤

バスベイ暫定整備



写真⑥



写真⑦



写真⑧



大船停車場矢部[上倉田地区]

(S=1/2,500)

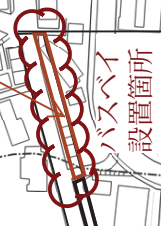
H29年度用地買収
H30年度工事

H28年度用地買収
H30年度工事

H30年度用地買収
H32年度工事

用地買収済
H32年度工事

H31年度用地買収
H32年度工事



L=約130m
[H20]

L=約350m
[残事業]

I区間 L=約270m
[S59~H15]

II区間 L=約480m
[H2~H33]

事業区間 L=約750m W=9.5m

凡	例	用地	工事
28年度まで	黒枠	黒塗	黒塗
29年度施行箇所	赤枠	赤塗	赤塗
30年度施行予定	青枠	青塗	青塗
残事業	茶枠	茶塗	茶塗

事業進捗状況

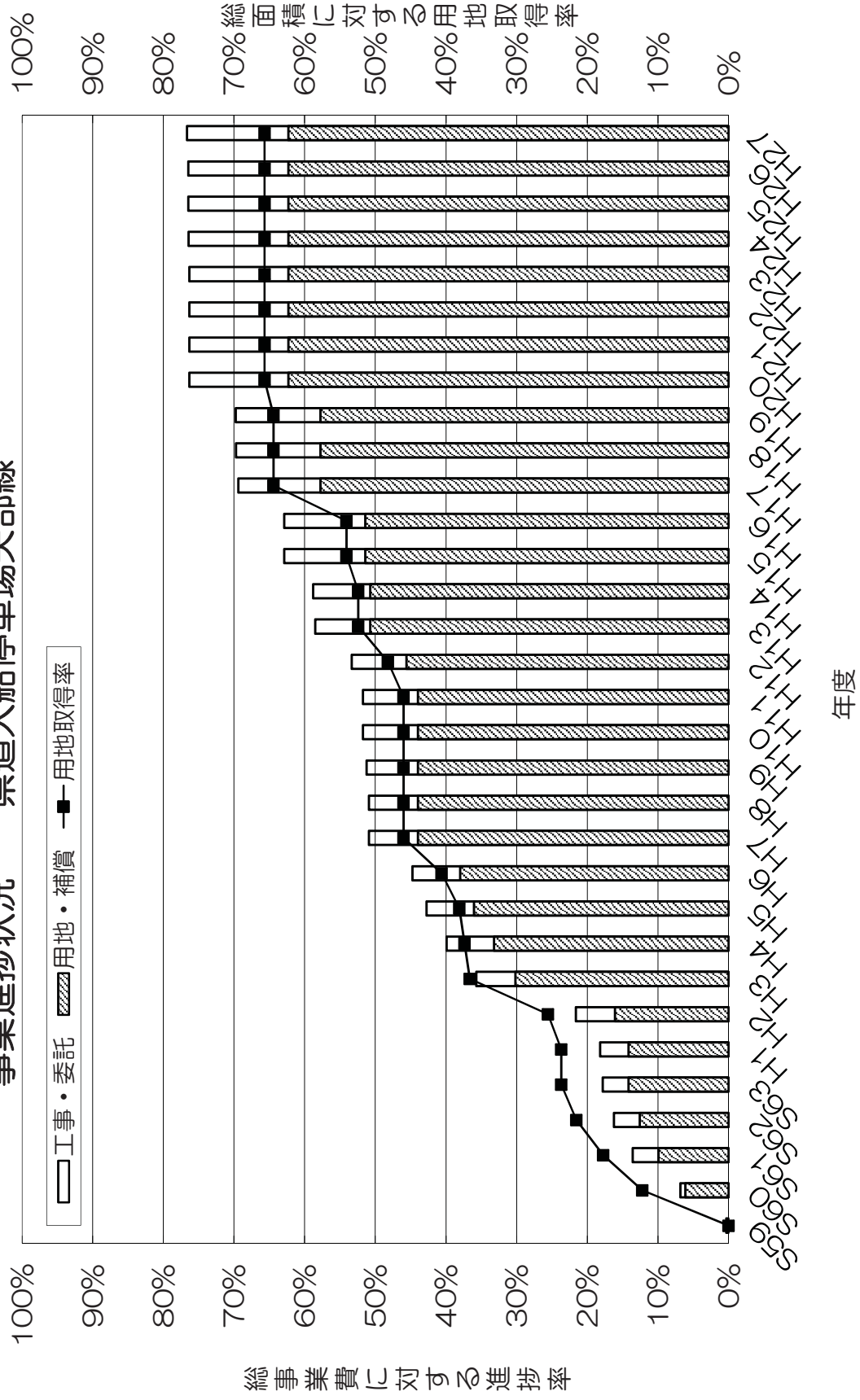
県道大船停車場矢部線

(単位：百万円)

年度	単年度事業費		事業進捗率		用地取得			
	合計	用地・補償 工事・委託	合計※1	用地・補償※2 工事・委託※2	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率※3	
S59	5	0	5	0.3%	0.3%	0	0	0.0%
S60	107	100	7	6.8%	6.1%	373	373	12.2%
S61	110	63	48	13.6%	9.9%	169	542	17.7%
S62	44	44	0	16.2%	12.6%	116	658	21.5%
S63	26	26	0	17.8%	14.2%	66	724	23.7%
H1	7	0	7	18.2%	14.2%	0	724	23.7%
H2	56	31	25	21.6%	16.1%	58	782	25.6%
H3	231	231	0	35.7%	30.2%	338	1,120	36.6%
H4	69	50	19	39.9%	33.2%	23	1,143	37.4%
H5	46	46	0	42.7%	36.0%	22	1,165	38.1%
H6	33	32	0	44.7%	38.0%	77	1,242	40.6%
H7	101	98	3	50.9%	44.0%	165	1,407	46.0%
H8	0	0	0	50.9%	44.0%	0	1,407	46.0%
H9	6	0	6	51.2%	44.0%	0	1,407	46.0%
H10	8	0	8	51.8%	44.0%	0	1,407	46.0%
H11	0	0	0	51.8%	44.0%	0	1,407	46.0%
H12	26	26	0	53.4%	45.6%	68	1,474	48.2%
H13	85	85	0	58.5%	50.7%	128	1,603	52.4%
H14	5	0	5	58.8%	50.7%	0	1,603	52.4%
H15	67	11	56	62.9%	51.4%	51	1,654	54.1%
H16	0	0	0	62.9%	51.4%	0	1,654	54.1%
H17	106	104	3	69.4%	57.7%	315	1,969	64.4%
H18	6	0	6	69.7%	57.7%	0	1,969	64.4%
H19	1	0	1	69.8%	57.7%	0	1,969	64.4%
H20	108	75	33	76.3%	62.3%	39	2,008	65.7%
H21	0	0	0	76.3%	62.3%	0	2,008	65.7%
H22	0	0	0	76.3%	62.3%	0	2,008	65.7%
H23	0	0	0	76.3%	62.3%	0	2,008	65.7%
H24	1	0	1	76.4%	62.3%	0	2,008	65.7%
H25	1	0	1	76.5%	62.3%	0	2,008	65.7%
H26	0	0	0	76.5%	62.3%	0	2,008	65.7%
H27	3	0	3	76.7%	62.3%	0	2,008	65.7%
合計	1,257	1,022	235			2,008		

※1 事業進捗率(合計)は全体事業費(様式3参照)に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和
 ※2 事業進捗率(用地補償、工事委託)は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合
 ※3 用地取得率は事業全体の取得面積(様式3参照)に占める各年度までの取得面積の割合

事業進捗状況 県道大船停車場矢部線



前回再評価内容との比較 県道大船停車場矢部道路改良

	前回(H23)	今回(H28)	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	環状3号線などの整備が進み本路線と接続したことで、環状3号線との流入流出交通が増加したため、本地区を整備する重要性はますます高まっています。また、現況幅員が狭いことから、バス停での渋滞も慢性的に生じています。残りの区間の整備とともに、バスベイ設置による渋滞緩和が求められています。	当該事業の未整備区間では、車道や歩道が狭く、空間内に標識や電柱があるため、歩行者の安全性や大型車の通行に課題があります。また、通学路でもあることから地元やスクールゾーン協議会から安全性の向上について、強く要望されており、早急に整備を行う必要があります。	平成25年度には、戸塚大踏切デッキ、平成27年度には、戸塚駅の東西道路を結びつつか地下道が供用開始され、駅周辺については、混雑の緩和、安全の確保、利便性の向上が図られました。しかしながら、当事業区間は路線バスが平日約730台運行しており、未整備区間の道路は狭く、早期の整備を望む声が市民及びバス事業者から寄せられています。
事業進捗率	76%	77%	+1%
用地取得率	66%	66%	+0%
供用等の状況	400m	400m	+0m
事業の進捗見込	改めて測量・調査を行った結果、官有地を利用したバスベイの設置が可能であることがわかりました。バスベイ設置は路線バスの渋滞対策としても高い整備効果が期待できます。 終点側からも整備を進めることで、渋滞緩和による高い整備効果が期待でき、事業に対する理解を得ることにもつながると考えます。引き続き用地買収と工事を進め、平成28年度完成を目指します。	戸塚駅側について、地権者の理解も得られたため、今年度中に1件の用地買収を予定しています。 また、両側の他の地権者からの協力も得られているため、引き続き用地交渉を進め、用地取得した箇所から工事に着手し、平成33年度の事業完成を目指します。	平成24年度より、戸塚駅側及び大船駅側の両側から地権者と用地交渉を進めておりましたが、移転先の用地確保や補償内容の説明に時間を要していました。